



北海道医師会館 9階理事会室

第9回常任理事会

日時 令和5年7月11日(火) 18:00～19:16
場所 北海道医師会館・9階理事会室
出席者 松家会長、藤原・佐古・鈴木各副会長、三戸・目黒・橋本・水谷・山科・伊藤・青木・荒木・長谷部・菅田・高橋・寺本・白崎・村上各常任理事、藤瀬・梶・阿久津各監事、長瀬顧問
 (事務局：三瓶事務局長ほか14名)

協議事項

第1号 表彰選考委員会委員・育英資金運営委員会委員の委嘱に関する件(目黒常任理事)

当会役員の任期満了に伴い、表彰選考委員会委員・育英資金運営委員会委員も任期満了となり、改めて委嘱依頼をすることと決定。

第2号 外部各委員会等委員の変更に関する件(目黒常任理事)

当会役員の任期満了に伴い、他団体の役員・委員等について検討を行い、基本的には、役員会務分担に基づき変更するが、診療科が関連するものについては、専門の先生に変更することと決定。

第3号 北海道医療費適正化計画検討協議会委員の推薦に関する件(目黒常任理事)

医療保険部長の伊藤常任理事と医療政策部長の荒木常任理事を推薦することと決定。

第4号 日本医師会生涯教育講座の認定に関する件(高橋常任理事)

申請のあった日医生涯教育講座9件を承認することと決定。

報告事項

1. [日医主催]「全世代対応型の持続可能な社会保障制度を構築するための健康保険法等の一部を改正する法律」に関する説明会[6月14日(水)・Web併用]について(荒木常任理事)

日医・釜范常任理事から「かかりつけ医機能が発揮される制度整備等について」、厚生労働省医政局・岡本利久総務課長から「全世代対応型の持続可能な社会保障制度を構築するための健康保険法等の一部

を改正する法律について」をテーマに講演があった。質疑応答では、出席者から医療法人データベースにおける職種別の給与報告や、医療と介護の相互連携における医療情報等の共有方法などに関する質問が出た。参加者は224名であった。

2. 第25回日本医療マネジメント学会学術総会[6月23日(金)～24日(土)・横浜市]について(長谷部常任理事)

横浜メディカルグループ菊名記念病院・山本登理理事長が学会長となり、神奈川県横浜市(パシフィコ横浜)において、『病院医療の展望』～「パンデミック・災害とBCP」から「求められる医療機能分化・連携へ」～をメインテーマに開催された。基調講演、会長講演、招待講演3題、特別講演4題、教育講演3題、シンポジウム13題などに加え、自由民主党所属の自見はなこ参議院議員による会長特別企画「公の役割、民の役割～徹底討論～」が行われた。次回は来年6月21日(金)～22日(土)に、福岡県福岡市(福岡国際会議場、福岡サンパレス)において開催予定。

3. 第154回日本医師会定例代議員会[6月25日(日)・日医会館]について(鈴木副会長ほか)

松本会長および日本医学会・門田会長の挨拶の後、令和4年度事業報告があった。議事に入り、令和4年度決算の件、令和6年度日本医師会会費賦課徴収の件について上程され、承認された。続いて、日本医師会常任理事選任・選定の件について上程され、松本会長より理事者提案理由の説明の後、定数どおりとなった4名の候補者(当会から笹本洋一参与が立候補)の常任理事選任・選定につき、承認された。その後、代表質問が行われ、北海道から1題提出し、当会副会長・佐古代議員から「薬剤師の偏在について」質問を行い、宮川常任理事から、薬剤師の地域偏在や業態偏在は日医としても重大な問題だと認識している。日医は、2019年の厚生労働省の社会保障審議会医療部会で、本件については国として検討するように要望した。また、厚生労働省の薬剤師の養成及び資質向上等に関する検討会で、薬剤師の従事先には地域偏在や業態偏在があり、特に病院薬剤師の確保のみならず、病院での卒後臨床研修の在り方が喫緊の問題であることを指摘し、対策を講じるよう要望している等の回答があった。

4. 第55回北海道ドクターズゴルフ大会・協議会役員会[7月2日(日)・帯広市]について(目黒常任理事)

帯広市医師会の担当により、十勝カントリークラブで開催し、56名が参加した。協議終了後の北海道ドクターズゴルフ協議会役員会では、役員の一部変更、前回大会(令和4年度・函館市)の決算報告・監査報告を承認した。また、第56回大会(令和6年度)は、苫小牧市医師会の担当で千歳空港カントリークラブにおいて開催(日程は本年10月に確定)する

ことを確認し、第57回大会（令和7年度）は、釧路市医師会の担当で令和7年7月6日（日）に開催することを承認した。

5. 外部各委員会報告

(1) 第1回北海道感染症対策有識者会議〔6月20日（火）・Web会議〕について（三戸常任理事）

新たな感染症への備えとして、新型コロナウイルス感染症への対応に関する検証を行うことについて説明後、検証の進め方および対応状況の論点整理について、意見交換が行われた。

(2) 第1回北海道感染症対策連携協議会〔6月30日（金）〕について（三戸常任理事）

座長に小職が選任され、次期「北海道感染症予防計画」の協議項目、策定スケジュール、構成案など全体のイメージについて報告後、意見交換が行われた。

(3) 北海道ドクターヘリ基地病院連携会議〔6月30日（金）〕について（目黒常任理事）

ドクターヘリ4基地病院や運航会社などの関係者が集まり、5月に新型コロナウイルス感染症が5類感染症へ移行したことに伴い、日本航空医療学会理事会から示されたドクターヘリの感染対策に関する見解への各基地病院の対応状況等に関して意見交換した。また、6月に発生した八雲町の国道での交通事故の事例をもとに、基地病院間の協力状況等について確認した。

(4) 第1回訪問看護推進検討会〔7月6日（木）〕について（藤原副会長）

委員長に北海道看護協会会長・高橋久美子委員を選出後、令和4年度訪問看護推進事業の実施結果ならびに令和5年度訪問看護推進事業の事業計画について報告があった。また、第8次医療計画策定に向けた訪問看護人材の確保・育成・定着に向けて協議した。

6. 中央情勢報告

「新型コロナウイルス感染症への対応に関する検証」について（三戸・荒木常任理事）

三戸常任理事から北海道における新型コロナウイルスへの対応状況として、ウイルスの特性や変異の状況に合わせて区分した3つの時期における対応状況等について説明後、意見交換を行い、感染症への対応を進めてきた当会からの意見を取りまとめた。

道総医協関連事項（藤原副会長）

1. 各専門委員会・小委員会・検討委員会等の委員について（藤原副会長）

当会役員の改選に伴う委員の変更を了承した。

2. 第1回運営委員会〔7月10日（月）〕について（藤原副会長）

委員長に小職、副委員長に北海道歯科医師会副会長・西隆一委員を選出後、昨年度の各専門委員会協議実施状況について報告があり、7月25日（火）開催予定の第66回総会の内容等について協議した。

第10回常任理事会

日時 令和5年7月25日（火）18:30～18:58

場所 北海道医師会館・9階理事会室

出席者 松家会長、藤原・佐古・鈴木各副会長、目黒・橋本・水谷・山科・伊藤・青木・荒木・菅田・寺本・白崎・村上各常任理事、藤瀬・阿久津両監事、長瀬顧問
(Web参加者) 長谷部常任理事、梶監事
(事務局：三瓶事務局長ほか14名)

協議事項

第1号 社会保険診療報酬支払基金北海道審査委員会委員の推薦に関する件（伊藤常任理事）

2名の標記審査委員会委員について、社会保険診療報酬支払基金北海道支部に推薦することと決定。

第2号 母体保護法指定医師の指定に関する件（目黒常任理事）

持ち回り審査で指定可とされた、新規申請者1名を指定医師とすることと決定。

第3号 日本医師会生涯教育講座の認定に関する件（村上常任理事）

申請のあった日医生涯教育講座6件を承認することと決定。

第4号 その他

(1) 8月行事予定に関する件（事務局）

報告事項

1. 第1回都道府県医師会長会議〔7月18日（火）・日医会館〕について（松家会長）

「医薬品を巡る諸課題（医薬品の安定供給、高額医薬品、公定薬価制度）について」をテーマに、当会が属さないDグループ（8医師会）が議論した。その後、同テーマに対する日医への質問が行われ、当会からは、優れた医薬品を評価する一方で、医療保険財政にも配慮しながら、どのように適正な費用対効果の評価を行っていくのか日医に見解を求めた。

2. 都道府県医師会社会保険・情報システム担当理事連絡協議会〔7月20日（木）・Web会議〕について（伊藤常任理事）

日医・松本会長の挨拶と加藤勝信厚生労働大臣の来賓挨拶後、日医・長島常任理事より「医療DXに対する日本医師会の基本姿勢」をテーマに、医療DXへの実現に向けて日医として全面的に協力すると説明があった。また、厚生労働省保険局医療介護連携政策課・水谷忠由課長から、「オンライン資格確認の現状と今後の対応」として、保険者による迅速かつ正確なデータ登録の確保を推進していくこと、マイナンバーカードでオンライン資格確認を行うことができない場合の対応について、説明があった。マイナンバーカードについては、厚生労働省が、患者向けの配付資料を作成したため、今後、医療機

関や関係団体等へ周知していく予定である。

3. HPVワクチン研修会〔7月20日（木）・Web開催〕 について（寺本常任理事）

北海道ならびに北海道教育委員会の協力のもと、昨年4月から積極的勧奨が再開され、今年からは9価ワクチンも定期接種となったHPVワクチンについて、その有効性ならびに安全性等に関する正しい知識を市町村職員、保健所保健師等が身につけることを目的に開催した。医療法人おひげせんせいのこどもクリニック・米川元晴理事長から「2023年4月から大きく変わるHPVワクチン」をテーマに、小職から「予防できるがん～子宮頸がん～」について講演し、受講者からの質問に回答した。

4. 外部各委員会報告

(1) 北海道DPAT推進会議〔7月10日（月）・Web会議〕について（白崎常任理事）

知床沖観光船事故に係る北海道DPATの対応および体制整備状況等について報告があり、意見交換した。知床沖観光船事故に関しては、派遣の必要性を判断するプロセスや災害救助法が適用されない事故等の対応、市町村など関係機関への北海道DPATの周知等について意見が出た。

(2) 道東ドクターヘリ運航調整委員会〔7月20日（木）・Web会議〕について（白崎常任理事）

事務局長などの一部役員の交代、昨年度の運航実績やドクターヘリの機体不具合による運航停止等について報告があった。また、11月3日

～4日に釧路市で開催する第30回日本航空医療学会総会について説明があった。

(3) 北海道在宅医療推進支援センター第1回運営協議会〔7月20日（木）・Web会議〕について （伊藤常任理事）

在宅医療の実施状況、関連する社会資源の状況等について、在宅医療推進のベースとなる国保データベース（KDB）等の基礎的なデータを分析・整理すること、地域における在宅医療・介護連携の体制を構築するための各種支援（医療アドバイザーの派遣、各種研修の開催、ホームページを活用した情報発信等）を行うこと等、今年度の運営方針について説明があった。なお、新規の取組みとして、事務職員向け研修が企画された。

5. その他

(1) 北海道警察との連携に関する覚書締結式〔7月25日（火）〕について（松家会長）

サイバー攻撃による被害が深刻化し社会問題となっている状況を受け、当会と北海道警察は、北海道内の郡市・医育機関医師会およびその会員が所属する医療機関におけるサイバー事案に係る被害の未然防止等を図るため、緊密な連携を実現する覚書を締結し、7月25日11時に北海道警察本部にて締結式が行われた。締結式の様子は同日夜のNHKニュースで放映され、WEB版でも公開された。

北海道医師会ホームページ フォトギャラリー 作品募集

◇情報広報部◇

北海道医師会では、ホームページにフォトギャラリーを開設しております。今後、会員の皆様の作品掲載を充実していきたいと考えております。どうぞふるってご応募ください。

募 集 要 項

【応募規定】

- 作品のテーマは自由です。
- 本人が撮影した作品に限ります。
 - フィルム：作品は原則としてポジカラー（スライド）としますが、プリントはキャビネサイズ以上であれば可です。
 - デジタル：JPEG、TIFF等の画像データ。
ただし、撮影時のオリジナル画像と大きく異なるような修正・合成等の画像処理を施したものは不可とします。
 - コメント：作品タイトルと200字程度にまとめた説明等を添付してください。
- 応募者それぞれに専用の掲載ページを作成します。同時に掲載できる作品は20点までとします。作品の入れ替えは、随時可能です。

- 肖像権やプライバシーの侵害には十分ご注意ください。当会では責任を負いかねます。
- 応募作品が著しく多数の場合、広報委員会において、フォトギャラリーへの掲示作品を選定いたします。
- 作品の応募は随時受け付けております。

【応募・問い合わせ先】

〒060-8627

札幌市中央区大通西6丁目
北海道医師会事業第一課

TEL 011-231-7661

FAX 011-241-3090

E-mail photo@m.doui.jp